



国土交通省道路局長 殿

平成 19 年 4 月 26 日

青木村長 宮原 毅



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について（回答）

このことについて、下記のとおり回答いたします。

記

長野県は山岳県であり、特に北信・東信地域と中信・南信地域の間に山脈が連なり、経済を含め交流が分断の傾向と認められる。

現在主な道路として国道 19 号、国道 142 号和田峠、国道 254 号三才山トンネル、国道 143 号青木峠、国道 152 号大門峠があるが、特に青木村から松本方向の国道 143 号は峠部分の道路が未改良で難路であり、その機能を満たせていない。

峠部分の将来計画にある 0.81km と 1.51km のトンネル化の事業採択が東信の当地にあっては、緊急の課題と捉えて、具体的な優先度の高い必要な政策と提言致します。

中山間地域の日常の生活を支えるためには、車での移動が頼りとなるため、生活道路の整備は大変重要であり、またそれらを結ぶ幹線道路の整備も欠かせません。

これらを進めるために、新しい技術を生かし、コスト削減を図る中で、一層の整備を進め、人口の減少を少しでも押さえ、都会に集中する人口を緩和することが出来ればと思います。

日常的に車を運転し、また、自動車関係諸税を納税する立場としては、長野県の道路の整備はまだまだと思いますので、道路特定財源は、出来るだけ道路整備等に当てて頂きたいと思っております。